

産業経済

7月豪雨による災害復旧工事費 2881万円増額を可決

産業経済委員会

●一般会計補正予算(第5号)

農政課関係

ほ場整備等負担金175万円の減額。30年度当初に、県での事業費を8千万円で計上していたが、国から県に対して1千万円減額配分になり、地元負担金175万円を減額。減額分1千万円は土地改良区から繰入れになり、事業費7千万円の12.5%、875万円を新たに土地改良区受益者負担金として計上。

地域用水機能増進事業修繕費、13万1千円の増額。木流川駐車場近くの木道に破損箇所があり、木流川春の観察会で危険がないよう、他の科目より流用し、緊急に対応したものと、ピオトップ近くの木道の改修費。

有害鳥獣被害対策事業は電柵の購入費用21万2千円の増額で、貸し出している。現年発生農地農林施設災害復旧費の945万円の増額は、7月の豪雨による農地災害復旧費用。



7月の豪雨で崩れ落ちた飯田区の農地

問 答

電柵の貸し出した地区は、佐野・三日市場・飯森地区等。農地災害の地籍は、飯田、堀之内、三日市場で各地区3ヶ所。

問 答

建設課関係
7月の豪雨による土砂撤去と水路維持に関わる費用に、190万2千円の増額。
7月の豪雨による災害復旧工事費に2881万円の増額。

問 答

観光課関係
雪害による頂上宿舎従業員棟の屋根、女子部屋天井及び診療室壁等の修繕工事費に151万円の増額。頂上宿舎従業員棟雪害修繕に221万4千円と、頂上宿舎本館窓修繕に60万480円の合計から、八方池山荘の外壁修繕の先送りによる130万4910円の減額。商工振興費の300万円は信用保証協会保証料補給負担金が不足しているための増額。事業展開資金、地域活性化資金の大きな申し込みがあったことが原因。

問 答

外国人に対する補償金は、日本人に対するもので、外国人を見込んだ宿泊施設への大型投資。今年8月までに10件で融資額2億80万円、補償額515万3925円の申請があり、増額したもの。

問 答

上下水道課関係
平成29年度の下水道事業特別会計繰出金の確定による177万9千円の減額。
▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

問 答

外国人に対する補償金は、日本人に対するもので、外国人を見込んだ宿泊施設への大型投資。今年8月までに10件で融資額2億80万円、補償額515万3925円の申請があり、増額したもの。

問 答

水道事業会計補正予算(第2号)
水道事業収益に収益的収入の営業収益に20万6千円を追加し2億7300万円、二股浄水場発生汚泥溶室試験検査業務費用で二股浄水場のプール2槽の汚泥を調査するもの。
▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

問 答

下水道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に28万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を9億653万5千円とするもの。
一般会計繰入金確定により177万9千円の減額。
下水道費一般管理費の指定工事店保証還付金8万9千円の増額。下水道工事の指定工事店1社の廃止によるもの。
▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

